

NPO 京都コミュニティ放送 第 120 回 番組審議会 議事録

開催日時：2018 年 3 月 27 日（火）10：30～12：00

会場：イヌイ四条ビル 3 階「flag 四条」

出席委員：福井秀彦 岡本卓也 竹村知紘 中村正

欠席委員：山本時子 ジェフ・バーグラント 竹下清

局側委員：松岡千鶴 町田寿二 藤本香（順不同敬称略）

ゲスト：「きょうと・人・まち・であいもん」（毎月第 1・3 土曜日 15 時放送 30 分番組）

番組オーナー 京都府建築士会（担当：ラジオ部会 江坂幸典さん）

■審議番組

「きょうと・人・まち・であいもん」（毎月第 1・3 土曜日 15 時放送 30 分番組）

番組オーナー 京都府建築士会（担当：ラジオ部会 江坂幸典さん）

■番組審議

冒頭、番組担当 江坂幸典さんから番組趣旨の説明があった。

ラジオカフェ開局当初から番組を続けている。4 回分の放送を防災、京都、会員、三条というジャンルに分けて、担当を変えている。30 分の前半は外での録音音源を使用、後半はスタジオで録音している。

2018 年 2 月 3 日放送の番組を全員で聞き審議に入った。

- ・この回は前半をインタビュー、後半を委員会の活動紹介に充てている。（江坂）
- ・現場に行っていると説明不足になりがち。最初にゆっくり情景説明をした方が良い。
- ・ラジオ部会のメンバーで、放送を聞き合う事はあるのか？
- ・前半後半で人が変わる。2 部構成の繋ぎ部分の工夫が必要だと思う。（江坂）
- ・インタビューの言葉遣いが気になった。お互いの立場の紹介もトークの中に何度か入れた方が良い。時節の空気感も伝わってこない。
- ・現地に足を運んでいることの価値を、生かさない手はない。
- ・現地取材は難しい。作業場ではなく応接間などでじっくり話を聞くという方法もある。
- ・丁寧過ぎるほどの描写が無いとラジオを聴いている人は情景が浮かばないのではないか。
- ・内容に聞き入った。漆の魅力を一言二言補っても良いのではないか。ラジオらしい表現方法があるはずだと思う。
- ・収録は 1 時間位かけた中から抜粋している。だから雑談ぼくなるのかもしれない。（江坂）
- ・環境音も入れて周囲の空気感も伝えた方が良い。
- ・ゲストの紹介の仕方を決めておいた方が良い。この番組では放送するだけでなく交流会も開催している。これは財産だと思う。
- ・出会いもんの交流会は 1 年に 1 回開催している。ゲストはこれまでに約 700 人出演している。（江坂）
- ・建築士さんとしての視点の話も欲しい。
- ・1 口メモのようなコーナーを作ると良いのではないか。
- ・メンバーの一言メッセージという方法もある。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2018 年 4 月 3 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2018 年 4 月 3 日からホームページで公開した。